



西那須野中学校だより 4月



令和5年度がスタートしました!

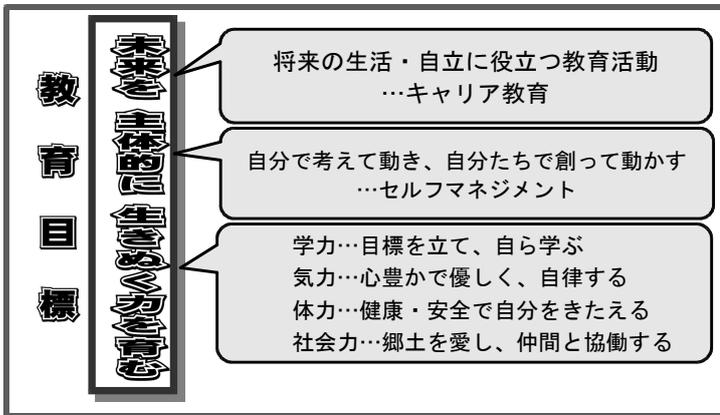
令和5年度は、250名の新1年生を迎え、1・2年生7学級、3年生8学級、特別支援5学級、全校生750名でスタートしました。本年度も、那須地区の20校の中学校（義務教育学校を含む）の中で、最も規模の大きな中学校となります。創立から77年目を迎え、本校の輝かしい歴史と素晴らしい伝統を引き継ぎながら、新たな一歩を踏み出し、着実に前進していこうと思います。

新型コロナウイルスに関しては、これまでの約3年間にわたって、マスク着用、三密回避、検温、消毒、換気などの対策を行った上で教育活動を行ってきました。しかし、3月中旬から県内の感染警戒度も「1」となり、4月からは学校でも「マスクの着用」が個人の判断とする旨の通知が、国や市教育委員会から発出されたところです。これからは少しずつではありますが、コロナ禍前の状況に戻っていくのではないかと思います。



【入学式:入学生誓いのことば】

さて、年度始めにあたり本校の「教育目標」について、簡単に説明します。



本校の「教育目標」は、「未来を主体的に生きぬく力を育む」です。この目標を左の図のように、三つに分けて説明します。

一つ目は、「未来を」の部分。これからの社会はどんどん変化し、その変化が予想できないと言われています。そんな複雑な未来に対応できるように、本校では、「キャリア教育」を重視しています。キャリア教育とは、「将来の生活や将来の自立と結びついた教育」のことです。

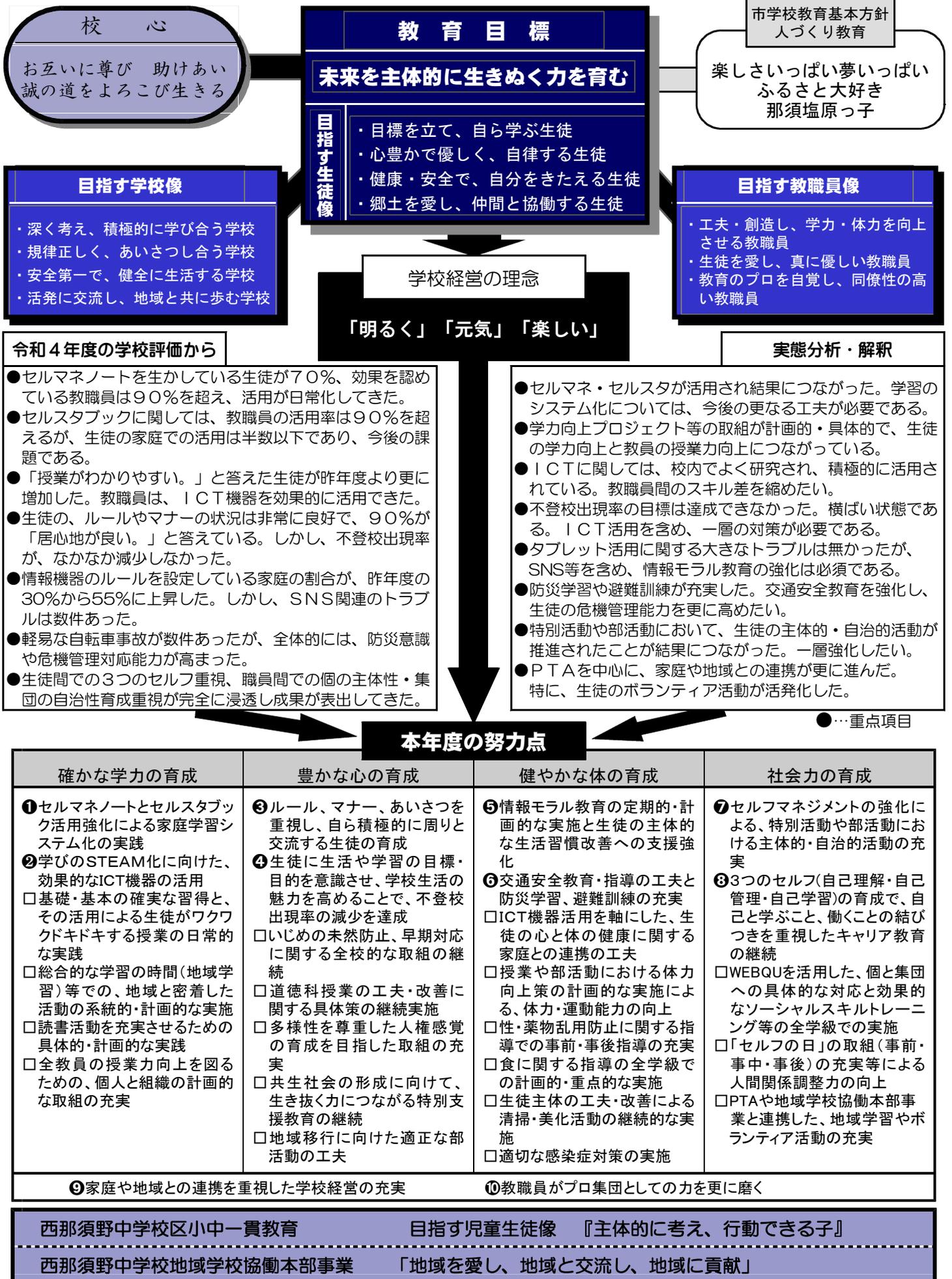
二つ目は、「主体的に」の部分。「主体的に」とは、あらゆる場面において、個人としては、自分で考えて行動していく、学級や部活動などの集団としては、自分たちで考えて、自分たちで集団を動かしていくという意味です。本校では、主体的な考えや行動がとれるように、「セルフマネジメント」（自己管理）を進めています。

三つ目は、「生きぬく力」の部分。この生きぬく力を本校では、「学力」、「気力」、「体力」、「社会力」の「4つの力」に分けて考え、それぞれの力を育てています。「学力」については、目標とそれを達成するための計画を立てて、自分から学ぶ生徒を目指します。「気力」つまり心の力については、人に優しく、ルールを守り、マナーよく生活する生徒を目指します。「体力」については、健康や安全に気を配り、自分の命を自分で守る生徒を目指します。「社会力」では、ふるさとである西那須野や栃木を愛し、仲間と一緒に協力して動ける生徒を目指します。

本校の全ての教育活動は、この教育目標達成のために行われます。なお、令和5年度の「学校経営全体計画」については、裏面に掲載しますので御覧ください。引き続き、本年度もよろしくお願いいたします。

令和5年度 学校経営全体計画

那須塩原市立西那須野中学校



校 心

お互いに尊び 助けあい
誠の道をよこび生きる

教育目標

未来を主体的に生きぬく力を育む

目指す生徒像

- ・ 目標を立て、自ら学ぶ生徒
- ・ 心豊かで優しく、自律する生徒
- ・ 健康・安全で、自分をきたえる生徒
- ・ 郷土を愛し、仲間と協働する生徒

市学校教育基本方針
人づくり教育

楽しさいっぱい夢いっぱい
ふるさと大好き
那須塩原っ子

目指す学校像

- ・ 深く考え、積極的に学び合う学校
- ・ 規律正しく、あいさつし合う学校
- ・ 安全第一で、健全に生活する学校
- ・ 活発に交流し、地域と共に歩む学校

目指す教職員像

- ・ 工夫・創造し、学力・体力を向上させる教職員
- ・ 生徒を愛し、真に優しい教職員
- ・ 教育のプロを自覚し、同僚性の高い教職員

学校経営の理念

「明るく」「元気」「楽しい」

令和4年度の学校評価から

- セルマネノートを生かしている生徒が70%、効果を認めている教職員は90%を超え、活用が日常化してきた。
- セルスタブックに関しては、教職員の活用率は90%を超えるが、生徒の家庭での活用は半数以下であり、今後の課題である。
- 「授業がわかりやすい。」と答えた生徒が昨年度より更に増加した。教職員は、ICT機器を効果的に活用できた。
- 生徒の、ルールやマナーの状況は非常に良好で、90%が「居心地が良い。」と答えている。しかし、不登校出現率が、なかなか減少しなかった。
- 情報機器のルールを設定している家庭の割合が、昨年度の30%から55%に上昇した。しかし、SNS関連のトラブルは数件あった。
- 軽易な自転車事故が数件あったが、全体的には、防災意識や危機管理対応能力が高まった。
- 生徒間での3つのセルフ重視、職員間での個の主体性・集団の自治性育成重視が完全に浸透し成果が表出してきた。

実態分析・解釈

- セルマネ・セルスタが活用され結果につながった。学習のシステム化については、今後の更なる工夫が必要である。
- 学力向上プロジェクト等の取組が計画的・具体的で、生徒の学力向上と教員の授業力向上につながっている。
- ICTに関しては、校内でよく研究され、積極的に活用されている。教職員間のスキル差を縮めたい。
- 不登校出現率の目標は達成できなかった。横ばい状態である。ICT活用を含め、一層の対策が必要である。
- タブレット活用に関する大きなトラブルは無かったが、SNS等を含め、情報モラル教育の強化は必須である。
- 防災学習や避難訓練が充実した。交通安全教育を強化し、生徒の危機管理能力を更に高めたい。
- 特別活動や部活動において、生徒の主体的・自治的活動が推進されたことが結果につながった。一層強化したい。
- PTAを中心に、家庭や地域との連携が更に進んだ。特に、生徒のボランティア活動が活発化した。

●…重点項目

本年度の努力点

確かな学力の育成	豊かな心の育成	健やかな体の育成	社会力の育成
<p>①セルマネノートとセルスタブック活用強化による家庭学習システム化の実践</p> <p>②学びのSTEAM化に向けた、効果的なICT機器の活用</p> <p>□基礎・基本の確実な習得と、その活用による生徒がワクワクドキドキする授業の日常実践</p> <p>□総合的な学習の時間(地域学習)等での、地域と密着した活動の系統的・計画的な実施</p> <p>□読書活動を充実させるための具体的・計画的な実践</p> <p>□全教員の授業力向上を図るための、個人と組織の計画的な取組の充実</p>	<p>③ルール、マナー、あいさつを重視し、自ら積極的に周りや交流する生徒の育成</p> <p>④生徒に生活や学習の目標・目的を意識させ、学校生活の魅力を高めることで、不登校出現率の減少を達成</p> <p>□いじめの未然防止、早期対応に関する全校的な取組の継続</p> <p>□道徳科授業の工夫・改善に関する具体策の継続実施</p> <p>□多様性を尊重した人権感覚の育成を目指した取組の充実</p> <p>□共生社会の形成に向けて、生き抜く力につながる特別支援教育の継続</p> <p>□地域移行に向けた適正な部活動の工夫</p>	<p>⑤情報モラル教育の定期的・計画的な実施と生徒の主体的な生活習慣改善への支援強化</p> <p>⑥交通安全教育・指導の工夫と防災学習、避難訓練の充実</p> <p>□ICT機器活用を軸にした、生徒の心と体の健康に関する家庭との連携の工夫</p> <p>□授業や部活動における体力向上策の計画的な実施による、体力・運動能力の向上</p> <p>□性・薬物乱用防止に関する指導での事前・事後指導の充実</p> <p>□食に関する指導の全学級での計画的・重点的な実施</p> <p>□生徒主体の工夫・改善による清掃・美化活動の継続的な実施</p> <p>□適切な感染症対策の実施</p>	<p>⑦セルフマネジメントの強化による、特別活動や部活動における主体的・自治的活動の充実</p> <p>⑧3つのセルフ(自己理解・自己管理・自己学習)の育成で、自己と学ぶこと、働くことの結びつきを重視したキャリア教育の継続</p> <p>□WEBQUを活用した、個と集団への具体的な対応と効果的なソーシャルスキルトレーニング等の全学級での実施</p> <p>□「セルフの日」の取組(事前・事中・事後)の充実等による人間関係調整力の向上</p> <p>□PTAや地域学校協働本部事業と連携した、地域学習やボランティア活動の充実</p>
⑨家庭や地域との連携を重視した学校経営の充実		⑩教職員がプロ集団としての力を更に磨く	

西那須野中学校区小中一貫教育

目指す児童生徒像 『主体的に考え、行動できる子』

西那須野中学校地域学校協働本部事業

「地域を愛し、地域と交流し、地域に貢献」

